

社会政策学会 2012年度 **第124回** 春季大会

5月26日(土)～27日(日) 駒澤大学【駒沢キャンパス】

5月26日(土) 共通論題 会場:駒澤大学 記念講堂

2011年3月11日の東日本大震災から1年を過ぎたが、被災の深刻さと、長期間にわたって人類を傷つけ続ける放射能の存在を前に、「復興」や「地域再生」を見通すことはできない。今大会では、二つの共通論題を設け、社会政策に課せられた課題と役割を明らかにする。

1 福島原発震災と地域社会

9:00 開場

9:30～12:30

石丸 小四郎(双葉地方原発反対同盟)

佐藤 幸子(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク)

佐藤 彰彦(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター)

菅井 益郎(國學院大学経済学部)

2 震災・災害と社会政策

14:00～17:00

丹波 史紀(福島大学行政政策学類)

佐藤 嘉夫(岩手県立大学社会福祉学部)

小笠原 浩一(東北福祉大学総合福祉学部)

5月27日(日) テーマ別分科会・自由論題 9:30～17:00

一般市民の方は、
初日の共通論題への
参加は**無料**です。
是非ご参加下さい。